

## (参考) 都市づくりの10の基本方向

### 基本方向 1

#### 地域経済の活性化による、魅力と活力あふれるまちづくり

岡山市の持つ優れた立地条件や、厚みのある医療・介護等の都市機能集積の強みを活かし、地場産業の育成・強化、新産業の戦略的な創出・育成、企業立地等を進めます。

岡山城・岡山後楽園を中核とする歴史・文化ゾーン、表町エリア、岡山駅周辺エリアなどそれぞれの特性を生かすとともに、回遊性を高めるなど、魅力と賑わいのある中心市街地の創出を図ります。

歴史・文化等の固有の地域資源を活かした観光・交流の促進や都市ブランドの向上等により、国内外から多くの人が集い、交流するまちづくりを進めます。

#### 数値目標（候補）

- ・ 市内総生産
- ・ 市内就業者数
- ・ 岡山市の認知度
- ・ 観光入込客数

#### 政策の主な方向

##### (1) 新たな雇用と活力を生む戦略的な産業振興

- 岡山市の強みである医療・介護等の都市機能集積を活かし、産学官などの幅広い交流・連携により、ヘルスケア関連産業をはじめとした付加価値の高い新産業の創出・育成を図ります。
- 地域経済を支える中小企業等の経営安定化と競争力強化を促進するとともに、起業家、ベンチャー企業の創業を促進する環境づくりを進めます。
- 立地の強みを活かし、東京圏等からの本社機能の移転など新たな企業立地を促進するとともに、学卒者やU I J ターン希望者と地元企業とのマッチング機会の充実等により、企業と人の移転・集積を進めます。

##### (2) 魅力と賑わいのある中心市街地の創出

- 西川緑道公園、県庁通り等での歩行者優先の歩いて楽しい都心空間づくり、公共交通の利便性向上や、自動車交通の流入抑制等により、中心市街地の回遊性向上に向けた交通体系づくりを進めます。

- 市民や民間事業者による、まちなかでの文化・芸術、地域振興等の創意と工夫に溢れる活動を後押しするため、まちなかの公園、広場等の公共空間を有効活用できる仕組みづくり等を進めます。
- 商店街の空き店舗や非店舗が増加する中、これら遊休不動産の有効活用を促すなど、商店街や民間事業者、NPO等が主体的に行う魅力的な商業空間づくりに向けた取組を支援します。

### (3) 多彩で活力ある農業の振興

- 就農者の減少と高齢化が進行する中、多彩な農産物を産出する岡山市の農業を持続的に発展させるため、担い手の確保・育成や、経営の効率化、集落機能の再生等に取り組むとともに、商工業者等との連携による新商品の開発、首都圏・関西圏への販路の開拓、高品質な農産物のさらなるイメージアップや高付加価値化を支援します。
- 中心市街地での大規模マルシェの開催や、農村部での農業体験イベントの開催など、市内での消費拡大を目指す農業者と消費者との交流の機会を充実させ、地産地消を促進します。

### (4) 国内外から人が集う観光・交流の推進

- 岡山城・岡山後楽園、吉備路など岡山地域を代表する観光資源の魅力に磨きをかけつつ、テーマやストーリー性を重視した新たな観光ルートの開発など、県や近隣自治体等との連携による広域観光やインバウンドを推進するとともに、おもてなしの力を高め、宿泊・滞在地としての魅力アップを図ります。
- また、都市イメージの一つとして定着している「桃太郎」などを活用し、国内外に向けて岡山市の認知度を向上させるためのプロモーションを戦略的に展開します。
- 特に、外国人観光客の動向等を的確に把握・分析しながら、岡山市の魅力の効果的な情報発信、受け入れ体制を充実させ、インバウンドの拡大を進めます。
- 岡山大学をはじめ、産学官の連携を一層強化し、学術・研究、スポーツ等の全国的な会議・大会や国際会議などの積極的な誘致を進めます。
- 岡山の強みを活かして、移住希望者へのワンストップサービスの充実を図るとともに、県や周辺市町と連携することにより、3大都市圏をはじめとする圏域外からの移住・定住を促進します。

## 基本方向2

### コンパクトでネットワーク化された快適で多様なまちづくり

人口減少や高齢化が進む中であっても、市民生活の質と都市の活力の向上を図るため、高次な都市機能が集積し賑わいと交流の拠点となる都心部と、豊かな自然や歴史・文化など地域資源に恵まれた周辺地域とが調和し、それぞれの特性と機能を活かした、コンパクトでネットワーク化された快適で多様なまちづくりを進めます。

超高齢社会や低炭素社会に適切に対応し、自動車への過度の依存から脱却し、誰もが安全・快適・円滑に移動できるように、公共交通を中心に、徒歩、自転車、自動車を地域特性に応じて最適に組み合わせた交通ネットワークを構築し、「自動車優先から人優先」のまちづくりを進めます。

#### 数値目標（候補）

- ・人口集中地区（D I D）人口密度

#### 政策の主な方向

##### （1）岡山型のコンパクトで多様なまちづくり

- 人口減少、少子高齢化に対応するため、無秩序な開発を抑制するとともに、都市計画と交通政策を連携し、都心、地域の拠点、公共交通沿線に都市機能や居住を集約しながら、都心拠点と周辺地域の各拠点が相互に公共交通を中心とする交通体系で結ばれた「拠点ネットワーク型コンパクトシティ」の構築を進めます。
- 都心部では、平面駐車場等の低未利用地が多い現状を踏まえ、商業・業務などの高次都市機能、居住機能の一層の集積や、市街地再開発事業等による土地の高度利用など、岡山の顔にふさわしいまちづくりを重点的に進めます。
- 地域・生活拠点では、その周辺地域も含めた利便性向上のため、立地適正化計画などを通じて、生活に必要な公共公益施設、医療、福祉、商業などの生活利便施設や人口を緩やかに集積させます。
- 併せて、都心に程近い貴重な都市空間である岡山操車場跡地は、「健康・医療・福祉」「交流・防災」「暮らし」などのサービスを提供する新たな拠点地区として整備を推進します。
- 周辺部においては、それぞれの地域にある歴史・伝統・文化、景観、食等の固有資源を活かし、地域の担い手を育成しながら、魅力ある地域づくりを進め、地域への定住、都市部との交流を促進します。
- 中山間地域等においては、地域の実情に応じ、生活サービス機能やコミュニティ機能を確保し、地域に住み続けることができる「小さな拠点」づくりを進めます。

## (2) 人と環境にやさしい交通ネットワークの構築

- 都心部と各地域拠点・周辺市町を結ぶ公共交通を将来的にも確保していくため、バス事業者と連携し利用者の立場に立ってバスの利便性向上を図るとともに、鉄軌道の利便性を高める一環として、吉備線LRT化の実現に向けた取組を進めます。
- 都心部では、中心市街地の回遊性の向上を図るため、歩行者・自転車のための空間の拡充、環状道路の整備等による自動車交通の流入抑制等、歩行者優先のまちづくりを進めます。また、路面電車については、駅前乗り入れを推進するとともに、環状化などの検討を進めます。
- 周辺部や集落地域等においては、高齢者などの日常的な生活圏における必要な移動を支援するため、地域と連携・協力し、地域の実情に応じた生活交通の導入、利便性向上を図ります。
- 広域的な人と物の交流を強化する美作岡山道路等の広域的な道路ネットワークの整備を促進するとともに、市民生活や産業活動を支える中・外環状線などの幹線道路網の整備を進めることで、中四国の交通結節機能をより一層高めます。

## (3) 魅力ある景観と快適な住環境の整備

- 岡山の歴史と文化を代表する岡山城・岡山後楽園周辺、旭川や西川緑道公園など本市の特徴である水と緑を活かした美しく風格ある景観づくりや、憩いのある空間づくり、緑豊かな街並みを創出する緑のボリュームアップなど、快適な都市環境づくりを進めます。
- 少子高齢化の進行による高齢者世帯の増加等により、多様化した住宅ニーズに対応した居住形態の供給を誘導するとともに、増加している空き家の適正管理や有効活用等を計画的に進め、地域の良い住環境を維持します。

## 基本方向3

### 歴史と文化が薫り、誇りと一体感の持てるまちづくり

岡山城・岡山後楽園、吉備路等の岡山市固有の歴史・文化資産に子どもたちから学び親しむとともに、その魅力を活かしつつ新たな文化を創造し、国内外に発信することで、地域への誇りを高め、国内外から多くの人々が訪れ、交流するまちづくりを進めます。

豊かで健やかな暮らしと都市の活力を育む、文化・芸術、スポーツを振興することにより、様々な交流を促進し、一体感の持てるまちづくりを進めます。

#### 数値目標（候補）

- ・文化芸術活動を行う市民の割合

#### 政策の主な方向

##### （1）歴史・文化を活かした魅力の創出と発信

- まちのルーツである岡山城跡の復元や、古代吉備国を中心に市内に多数存在する史跡、文化財の保全・活用により、歴史・文化が蓄積する都市としての風格と魅力を高めるとともに、学校教育等との連携を進め、市民の郷土に対する理解と愛着を深めます。
- 岡山城・岡山後楽園を中心に美術館、博物館が集積する歴史・文化ゾーンのさらなる魅力の向上とまちの回遊性を高めるため、県・市による岡山城・岡山後楽園の有機的な連携や岡山城の活用と魅力向上を進めます。
- その一環として、歴史・文化資産と現代アートなどの文化芸術を融合させる「（仮称）岡山国際現代芸術祭」を近隣自治体等と連携して開催するなど新たな文化を創造し、国内外へ積極的に発信します。
- まちなかにある歴史・文化資産の由来等を顕し、市民、来訪者が歴史・文化に親しみ、楽しむ環境づくりを進めるとともに、各地域に埋もれている歴史・文化資産に光を当て、地域住民の自らの手による固有の歴史・伝統・文化の保存、活用や、未来に向けて継承、発展させる活動を支援します。

##### （2）暮らしに息づく文化芸術の振興

- 市民一人ひとりが暮らしの中に文化芸術が息づく心豊かな生活を送れるように、多様な文化芸術に触れ、親しみ、楽しむ機会の充実を図るとともに、市民が主体的に文化芸術活動を行うことができる環境づくりを進めます。
- 地域の文化芸術団体やNPO等の活動の活性化、子どもが文化芸術を体験できる機会の充実等により、岡山の文化芸術の新たな担い手づくりを進めます。

- 文化・芸術と賑わいの新たな拠点となる新しい文化芸術施設を整備し、市民の多様で創造的な文化芸術活動と岡山らしい文化を発信することにより、文化が薫り、中心市街地の魅力とにぎわいのあるまちづくりを進めます。

### (3) 地域の活力を育むスポーツの振興

- 子どもから高齢者まで市民一人ひとりが健やかに暮らせるよう、生涯にわたり、いつでもどこでも気軽にスポーツに親しむことのできる環境づくりを進めます。
- 岡山をホームタウンとするトップチームへの支援を通じて、人々に夢と感動をもたらすスポーツによる市民の一体感の醸成を図るとともに、おかやまマラソン等の大規模なスポーツ大会の実施や、東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けた、事前キャンプ等の誘致など、スポーツを通じた地域の活性化を図ります。



## 基本方向 4

### 安心して子育てができ、若者や女性が輝くまちづくり

希望する誰もが安心して喜びを感じながら子どもを生き育てることができるよう、保育サービスの安定的な確保や、ワーク・ライフ・バランスを推進するとともに、子育て家庭の孤立化を防ぐため、地域社会全体で子育てを支える環境づくりを進めます。

また、困難を抱える子ども・若者への総合的な対策を充実し、安全で健やかに育ち、自立することができる環境づくりを進めます。

さらに、若者や女性が持つ潜在力や多様な視点を企業活動や行政、地域社会等の様々な場面で活かすなど、地域内の多様な人材を確保し、活力あふれる地域社会をつくりまします。

#### 数値目標（候補）

- ・ 子育て支援・児童福祉施策の満足度
- ・ 保育所等への入所希望者(潜在ニーズを含む見込み)に対する入所できた児童の割合
- ・ 放課後児童クラブの入所希望児童(潜在ニーズを含む見込み)に対する入所できた児童の割合
- ・ 市内企業等における管理的職業従事者に占める女性の割合

#### 政策の主な方向

##### (1) 安心して子どもを生き育てることができる環境づくり

- 出産・育児に対する不安軽減を図るため、必要な知識の普及や適切な保健指導、地域の子育て支援情報の提供など、相談・支援体制の充実を図り、妊娠期、産後から乳幼児期までの切れ目のない支援に取り組みます。
- 保育園では待機児童が発生している一方、幼稚園では入園児童が減少していることから、幼保連携型認定こども園等への移行や、民間活力を活かした保育施設の整備、保育士の安定的な確保を進めるとともに、多様な主体が多様なスペースを活用して少人数の子どもを保育する地域型保育を推進し、待機児童の解消のみならず潜在的保育ニーズを満たすとともに、質が確保された保育の供給を図ります。
- 放課後児童クラブの受け入れ対象が6年生まで拡大し、潜在的なニーズも含めた受け入れ枠が不足していることから、整備の加速化と質のさらなる向上を図り、安定的なサービスの確保に取り組みます。
- 子育てへの不安や負担感の軽減・解消を図るため、地域子育て支援センターなどの拠点における相談・支援体制を充実させるとともに、子育てサークルや支援団体の活動を促進し、子育て家庭の交流機会の充実や身近な場所で子育てを楽しく行える環境づくりを進めます。

- 男性も女性も仕事と生活の調和を図り、働きながら子育てができるよう、企業をはじめ、地域社会へワーク・ライフ・バランスの考え方の浸透を図るとともに、男性の家事・育児に対する意識改革を図り、一層の参加を促進します。

## (2) 子どもの健やかな成長と若者の自立の支援

- 障害や経済的な理由などで困難を抱える子どもたちとその家族への支援、児童虐待の防止や社会的養護の推進など、総合的な対策を充実し、まちの未来を担う子ども・若者が安全で健やかに育ち、自立することができる環境づくりを進めます。

## (3) 女性・若者の人材力を活かす社会環境づくり

- 仕事と家庭を両立できる働き方改革や職場の意識改革、指導的地位に女性が占める割合の増加など、企業自らが女性の活躍促進に向けた取組を積極的に進めるよう働きかけるとともに、男性の意識改革を進めるための鍵となる育ボスや男性リーダーの育成を支援します。
- 女性が経験や能力を最大限に活かし、結婚・出産・育児・介護など、それぞれのライフステージに応じた働き方が選択できるよう、女性一人ひとりが希望する生き方に応じた就職や起業を支援します。
- 若者が、まちづくり活動への主体的な参加や様々な世代の人たちとの交流の中で力を育み、地域の課題解決や活性化に力を発揮することができるよう、大学等と連携しながら、若者に対し市民協働に関する情報発信を進めるとともに、若者の活動をPRする仕組みをつくりまします。



## 基本方向 5

### つながる教育で未来を拓く人材を育むまちづくり

学びと育ちの連続性を大切にした「岡山型一貫教育」と、学校、家庭、地域がそれぞれの役割を果たしながら子どもを育む「岡山市地域協働学校」により、確かな学力、豊かな人間性、健やかな体を備えた「自立する子ども」を育成します。また、市民の生涯にわたる豊かな学びを支援し、未来を拓く力と豊かに生きる力を育むまちづくりを進めます。

#### 数値目標（候補）

- ・児童生徒の学校満足度

#### 政策の主な方向

##### （1）知・徳・体の調和のとれた自立する子どもの育成

- 子どもが予測困難な問題に直面しても、社会を生き抜く力を身に付けられるよう、就学前から中学校まで、中学校区を単位として、教育観や指導観などを共有する「岡山型一貫教育」を推進し、確かな学力、豊かな心、健やかな体の「知・徳・体」の調和がとれ、社会の中で自己実現できる自立する子どもを育成します。
- 学力向上に向け、子どもたちが意欲をもち、主体的、協働的に学び、満足感をもつことができる魅力的な授業づくりを行うとともに、特別な支援が必要な児童生徒が増加している状況も踏まえ、個に応じたきめ細やかな指導や支援の充実を図ります。また、家庭と連携して、生活習慣の改善を図り、家庭学習を支援します。
- 道徳教育や様々な体験活動を推進し、思いやりの心や規範意識、向上心をもった子どもの育成を図ります。
- 豊かな自然環境、地域の偉人や歴史・文化など、ふるさとに学ぶ特色ある教育によって、子どもたちが地域に愛着や誇りをもちながら、外国の文化や習慣を理解し、互いの違いを認め尊重し合う心の育成と英語教育の充実によって、国際社会で活躍できる子どもを育成します。
- 生涯にわたって、主体的に健やかな体を育もうとする態度を育てるために、子どもの運動習慣の定着を図るとともに、食習慣の改善に向けて、特に、学校給食を中心とした食育を推進します。
- 課題が深刻化する前に支援することにより、不登校やいじめなどの問題行動の未然防止と早期解決に取り組み、落ち着いた学習環境づくりを進め、集団の中で良好な人間関係を築き、能力を発揮する力を育成します。

## (2) 学校・家庭・地域が協働で進める教育力の向上

- 子どもや学校の抱える課題の解決、子どもたちの豊かな成長のためには、社会全体での教育の実現が不可欠であり、「岡山市地域協働学校」をはじめとして、学校、家庭、地域が、それぞれの役割を果たしながら協働して自立する子どもの育成を図ります。併せて、子育てにおける孤立化を防ぐため、子育ての不安や悩みなどを気軽に相談できる支援体制の充実や家庭教育支援団体相互のネットワークを強化し、岡山の教育力の向上を図ります。
- 教職員の経験年数、職種、今日的な様々な課題に対応した多様な研修を通して、継続的に指導力の向上を図り、優れた資質と能力を備えた魅力ある教職員を育成します。特に、若手の教職員の育成に重点を置き、指導方法などの技術や教育に対する思いを伝えることができる仕組みづくりを進めます。
- 子どもが快適に安心して学ぶことができるよう、安全・安心に配慮した教育環境の整備を進めます。

## (3) 生涯にわたる豊かな学びの充実

- 多様化する市民一人ひとりの学習ニーズに対応するため、様々な学習の機会の提供や情報提供に努め、市民が自己実現に向けて、生涯にわたり主体的に学べる環境の充実を図ります。
- 公民館を拠点とするE S Dの推進などを通じて、学びの成果を地域に活かすことのできる仕組みづくりを進めます。

## 基本方向 6

### 理解を深め合い、ともに築く市民主体のまちづくり

行政課題が高度化、複雑・多様化している中、ESDの理念を活かしながら、行政と地域住民、企業、大学、NPO等の多様な主体がパートナーシップを深め、それぞれの特性や力を発揮し、役割分担を明確にし、幅広い課題を解決していくまちづくりを進めます。

行政はもとより、民間レベルでの国際交流を推進しながら、グローバルな人材が育ち、外国人市民との交流が活発な国際的に開かれたまちづくりを進めます。

#### 数値目標（候補）

- ・ ESD活動につながる社会貢献活動等に参加する市民の割合

#### 政策の主な方向

##### （1）多様な担い手による協働・ESDの推進

- 地域の多様性を生かしたきめ細かな地域づくりを支援するため、地域の課題から世界規模の課題までを、自らの問題として捉え、将来世代のために責任ある行動ができる人づくりを進めるESD活動をさらに促進し、持続可能な地域社会づくりを進めます。
- 高齢化による担い手不足や活動参加者の減少により、町内会などの地縁組織の機能低下が危惧されており、子どもから高齢者まで多世代の地域住民等の交流や、町内会、婦人会、愛育委員会、民生委員などの地域における活動を促進し、顔の見える地域コミュニティづくりを進めます。
- 大学等の高等教育機関の知の集積や大学生などの活力を活かして、地域の様々な課題の解決が図られるよう、地元大学等との連携の取組を進めるとともに、市内に多数活動しているNPO等の持つ多様な知識とノウハウを、それぞれの分野でまちづくりに活かします。
- 企業や大学等の事業者が地域の当事者となって、社会貢献活動・地域連携に取り組むことが評価される仕組みや、優れた業績を残している団体を表彰する制度を設けます。

##### （2）国際交流とグローバル人材の育成

- 外国人市民に対する情報発信やコミュニケーション支援、生活支援等の充実により、外国人市民の社会参加を促進するなど、NPOと連携しながら、多文化共生のまちづくりを進めます。また、外国人留学生に対しては、大学等と連携し、岡山市に愛着を持ち、将来の国際交流の担い手となるよう交流を支援します。

- また、グローバルな視野を持ち、主体的に行動する力の基礎を育成するため、全小・中学校において、英語教育の推進や外国の文化等について理解を深める教育の充実を図ります。
- ユネスコのE S D推進のための「地域・地方での取組の促進」分野の「キーパートナー」として、メキシコシティ、ハンブルグとともに、我が国の自治体で唯一認定されたことを踏まえ、公民館を拠点にコミュニティに根ざした学びを推進する「E S D岡山モデル」を国内外に発信し、世界の先頭に立って、持続可能な社会の実現に貢献します。

### (3) 誰もが個性と能力を発揮する人権尊重のまちづくり

- 人権問題の解消に向けて、市民や事業者、国をはじめとする関係機関等と連携し、学校教育の場をはじめとする人権教育、市民や企業等への人権啓発などに取り組み、誰もが個人として等しく尊重され、個性と能力を発揮することのできる社会の実現を目指します。

## 基本方向7

### 住み慣れた地域で安心、健やかに暮らせるまちづくり

岡山市民の平均寿命は、男女ともに全国平均以上である一方、健康寿命については、男女とも全国平均を下回っています。市民の健康寿命を延伸し、生涯にわたり、健康でいきいきと生活できるよう、市民の主体的な健康づくりを促進するとともに、生涯現役で活躍できるまちづくりを進めます。

また、超高齢社会の進展に伴い、地域での医療・介護の受け皿の確保が課題となる中、医療や介護が必要になっても住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるよう、岡山市の豊富な医療・介護資源を活かし、地域毎に医療・介護・予防・住まいを一体的に提供できる「地域包括ケアシステム」の構築を進めます。

さらに、高齢者、障害者、生活困窮者等が、社会を構成する一員として、地域から孤立することなく、それぞれの能力を発揮しながら自立して暮らし続けられるよう、地域全体で支えながら社会参加や自立を促進します。

#### 数値目標（候補）

- ・健康寿命

#### 政策の主な方向

##### （1）生涯にわたり健康でいきいきと生活できるまちづくり

- 市民の健康づくり活動を応援する健康ポイント等の施策を推進するとともに、ヘルスポランテアや企業等と連携しながら地域、職場等、社会全体として健康づくりを支援していく環境づくりを進めます。
- 生活習慣病や介護予防を推進していくため、地域における健康づくり・介護予防活動の場の充実や市民の生涯スポーツを振興するとともに、移動しやすい・歩きやすいまちづくりを進めることで、市民の日常的な運動機会の増加を図ります。
- 高齢者が長年培ってきた知識・経験を生かし、高齢になっても生涯現役で活躍しつづけられるよう、「生涯現役応援センター」を拠点として、社会参加等を促進し、シニアが活躍できる場の創出や、充実したセカンドライフの支援を行います。

##### （2）豊富な医療・介護資源を活かした安心の暮らしづくり

- 市民の約4割は、医療や介護が必要になっても自宅での生活を望んでいます。「岡山市地域ケア総合推進センター」を拠点として、岡山市の先駆的な在宅医療・介護の連携等の取組をさらに進め、「在宅医療・介護日本一のまち」を目指します。

- 病院や診療所などの地域の医療機関における機能分担・連携の推進や、かかりつけ医とのコーディネート等の推進等を国や県と連携・役割分担しながら進め、必要な医療を必要な時に受けられる地域医療体制の充実を図ります。
- 「地域包括ケアシステム」の構築に向け、高齢になっても住み慣れた地域で暮らせるよう、医療・介護の体制整備を行いつつ、ボランティア、NPO、民間企業、社会福祉法人等の多様な事業主体による生活支援・介護予防サービスの充実等を図ります。

### (3) とともに生き、ともに支え合う地域社会づくり

- 生活困窮者に対し、生活保護受給に至る前の早い段階で、社会参加や就労等一人ひとりの状況に応じた支援を行い、困窮状態からの早期脱却を進めるとともに、生活保護制度の適正実施に努め、生活困窮者支援と生活保護制度の一体的実施による「重層的なセーフティネット」の構築を進めます。
- 障害者の社会参加と自立を促進するため、福祉施設から一般就労への移行を促すとともに、福祉関係団体や専門機関等と連携しながら、一般就労している障害者の職場定着を支援します。
- 少子高齢化の進展や、住宅弱者の多様化など、住生活を取り巻く環境の変化に対応するとともに、民間賃貸住宅との役割分担を踏まえ、住のセーフティネットとしての市営住宅の適正供給を図ります。
- 道路、公園、公共施設、公共交通等のバリアフリー化やユニバーサルデザインにより、誰もが不自由なく行動できる空間をつくっていくとともに、障害者理解を深めるための啓発や交流を促進し、心のバリアフリーを進めていきます。



## 基本方向 8

### 地域の力を活かした災害に強く安全・安心なまちづくり

市民の安全・安心への意識の高まりに対応し、災害による被害を最小限にとどめるため、災害に強い都市基盤の整備を進めるとともに、高度経済成長期に集中的に整備され、老朽化が懸念される都市インフラの効果的・効率的なマネジメントに取り組みます。

併せて、迅速・的確な対応ができる消防救急体制や地域の防災力の強化を図り、市民が安心して暮らせる環境づくりを進めます。

また、犯罪や交通事故の少ない生活環境づくりや消費者保護など安全な市民生活を守る取組を進めます。

#### 数値目標（候補）

- ・安全安心な地域社会と感ずる市民の割合
- ・自主防災組織率

#### 政策の主な方向

##### （1）災害に強く安全・安心な都市基盤の整備

- あらゆる災害リスクを想定し、最大限、人命が保護され、社会の重要な機能が致命的な被害を負わない強さと、災害から速やかに復旧可能な都市の実現に向けて、防災・減災への取組を総合的かつ計画的に推進します。
- 災害時の拠点や避難場所としての機能を担う公共建築物、道路や橋梁、上下水道施設等の都市インフラの耐震化を進めます。
- 浸水被害や浸水頻度の高い地域について、下水道や河川の整備を着実に進めるとともに、農業用水路の有効活用など、効果的・効率的な浸水対策に取り組みます。
- 河川や水路が非常に多く管理橋梁数は9,630橋と全国第1位の多さとなっており、その老朽化が急速に進行するため、都市インフラの持続可能なメンテナンスサイクルを確立し、将来にわたり市民の安全を確保するための取組を進めます。
- 歩道の整備や交差点改良、交通安全施設の設置や生活道路の整備などにより、安全・安心、人にやさしい道づくりを進めます。

## (2) 地域防災力の強化と消防救急体制の充実

- 地域の防災訓練等を通じて、市民一人ひとりの防災意識の向上を図るとともに、自主防災組織の組織率が低いことを踏まえ、その向上や活動の活性化を図り、災害発生時における地域の支え合いの仕組みづくりを促進し、災害による被害の最小化を図ります。また、民間建築物や住宅などの耐震化を促進します。
- 市民の生命や財産を守るため、住宅・施設火災の未然防止と被害の軽減に努めるとともに、高齢化の進行により増え続ける救急需要や複雑多様化する災害に迅速・的確に対応できるよう、救急業務の高度化、総合消防力の強化、消防署所の適正配置や通信指令体制の高度化・安定化を進め、消防救急体制の充実強化を図ります。

## (3) 安全・安心な市民生活の確保

- 警察をはじめとする関係機関や地域住民等と連携を図り、地域の防犯力を高める取組を推進するとともに、安全な交通環境の整備等を進め、交通事故のない安全な地域づくりを進めます。
- 高齢者や若者への消費者教育の拡充など自立した賢い消費者の育成に努め、消費者トラブルの未然防止や被害の減少を図ります。

## 基本方向 9

### 豊かな自然と調和した市民の手による持続可能なまちづくり

市民が自然とのふれあいを日常生活の中で楽しみ学ぶことができる環境づくりを進めるとともに、地域に根ざした環境保全活動の輪を広げ、多様で豊かな自然と共生したまちづくりを進めます。

持続可能な低炭素型の都市の実現に向けて、市民、事業者等との協働により再生可能エネルギーの導入、省エネルギー化を進めるとともに、市民生活や都市活動を環境にやさしいスタイルに変革していきます。

循環型社会の構築に向けて、市民、事業者、行政が一体となり、リフューズ（発生抑制）、リデュース（排出抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）の4Rの取組により、徹底した廃棄物の減量化・資源化を進めます。

#### 数値目標（候補）

- ・市民1人1日当たりのごみ排出量
- ・資源化率

#### 政策の主な方向

##### （1）岡山から広げる地域に根ざした環境づくり

- 岡山市の財産である多様で豊かな自然環境や良好な生物多様性を保全・再生し、次世代に引き継いでいくため、自然環境や生態系の調査を進めるとともに、市民、事業者、NPO等の地域に根ざした自主的な環境保全活動を促進し、市内外に活動の輪を広げていきます。併せて、市民が身近に自然とふれあい、親しむことのできる環境づくりを進めます。
- 公民館や学校、各種環境学習拠点において、豊かな自然環境を活かした環境学習、環境教育を推進し、ESDの理念に基づき、将来世代のことを考え、行動できる持続可能な社会の担い手づくりを進めます。
- 閉鎖性水域の瀬戸内海、児島湖をはじめ、河川・湖沼等の水質を改善し、潤いのある水辺環境を形成するため、公共下水道、農業集落排水、合併処理浄化槽などを適切に組み合わせた効率的・効果的な污水处理対策を推進します。

##### （2）低炭素型の環境にやさしいまちづくり

- 岡山市の晴れの日が多い地域特性を生かして、市民、事業者、行政が一体となり、太陽光を中心とした再生可能エネルギーの導入や、省エネルギー化を積極的に促進します。

- 自動車に過度に依存しない公共交通中心の低炭素型の交通体系づくりを進めるとともに、晴れの日が多く平坦な地形を有するなど、自転車に適した岡山市の特性を生かし、自転車の利用を促進します。
- 市役所自らが率先してエネルギー・資源の使用を抑制するため、市有施設への再生可能エネルギーの導入や省エネルギー化を推進するとともに、職員一人ひとりの環境配慮行動を徹底します。

### (3) みんなで進める循環型社会の構築

- 社会情勢や消費行動等の変化などを踏まえつつ、各種リサイクル法への対応や技術革新などを考慮した、最適なリサイクルを推進します。
- 市民、事業者等の意識や行動の改革を促すための啓発活動、環境学習等を進めるとともに、リサイクルや廃棄物抑制に協力する優良事業者の育成、支援を進めます。
- 市民、事業者、NPO等の協働による環境美化活動を推進し、ポイ捨てや不法投棄のない美しく快適なまちづくりを進めます。
- 効率的なごみ処理体制を構築し、災害廃棄物処理も含めた廃棄物の適正処理のため、ごみの広域処理体制の構築に向けた取組を進めます。

## 基本方向10

### 圏域をリードし、都市の持続的発展を支える都市経営

都市の持続的発展を支えるため、財政運営の健全性の確保、簡素で効率的な行政運営に向けた市役所の自己変革、官民の役割分担の見直し等の不断の行財政改革に取り組みます。

経済分野をはじめ広域的な視点を持って取り組むべき行政課題に的確に対応していくため、連携中枢都市圏の枠組みも活かした関係市町との有機的な連携を進め、圏域全体の発展を力強くリードし、さらには瀬戸内地域の活性化に貢献します。

#### 数値目標

- ・ 行政施策全般についての満足度
- ・ 住み続けたいと考える市民の割合
- ・ 岡山市役所の管理職に占める女性の割合

#### 政策の主な方向

##### (1) 将来世代に責任を持つ自主・自立的な行財政運営

- 高齢化の進行に伴う社会保障費の増加や、生産年齢人口の減少による税収減等が懸念される中、市民生活の向上と活力ある都市づくりに向けた政策を推進するため、事業の重点化、徹底した歳出削減と歳入確保等を進め、将来に負担を先送りすることなく、基金残高を一定程度保ちながら、健全で安定した財政運営を確保します。
- また、今後、大規模改修・更新の時期を一斉に迎える公共施設について、コンパクトシティの方針等との整合性を図りながら、施設の複合化、統廃合等の再配置や最適化、計画的な長寿命化等を進めます。
- 市民の信頼と期待に応える市役所への自己変革を進めるため、時代の変化や新たな政策課題に迅速・的確に対応できる組織づくり、豊かな創造性と高い意識を備えた職員の育成と資質の向上を進めます。
- 適時・適切な情報提供などの市政運営の見える化、市民の声を政策形成に活かす広聴機能の充実や市政情報発信機能の強化を図ります。
- 地域を代表する大規模事業所として、職員の働き方改革や女性の活躍促進等のダイバーシティ推進に率先して取り組みます。
- 将来においても引き続き質の高い行政サービスを効率的・効果的に提供するため、民間活力の一層の活用やICTの利用等による業務改革を進めます。

- 地域の特性を活かした自主・自立的な行財政運営を行うため、地方分権によるさらなる権限・財源の移譲と、地方が行うべき事務を一元的に担う「特別自治市」の実現に向けた取組を他の政令指定都市と連携しながら進めていきます。
- 岡山県との適切な役割分担と連携強化を進め、より効率的・効果的な行政サービスの提供に取り組みます。

## (2) 圏域をリードする連携の推進

- 岡山市を中心都市とする「連携中枢都市圏」の枠組みにより、圏域市町のポテンシャルを活かし、相互に機能を補完し合いながら、広域的な課題に取り組むことで、安全・安心で利便性の高い暮らしを確保するとともに、地域経済を活性化し圏域の持続的な発展を目指します。
- 「瀬戸内」という一つのブランドイメージを基盤に持つ岡山市、広島市、高松市、松山市の4県都市が、広域的視点に立ちながら、互いの長所を活かしつつ相乗効果を発揮できる施策を展開することにより、瀬戸内海の魅力を国内外に向けて発信し、瀬戸内地域全体の一層の発展につなげていきます。